

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価

令和2年2月25日
札幌市立上篠路中学校

1 本年度の重点目標

・生徒指導の充実 ・「学ぶ力」の育成 ・規範意識と徳性の涵養
 ・進路指導の充実 ・各自の目標の実現を伴うプロ教職員チームへ
 今年度【スローガン】各自が未来へ一歩踏み出そう！ ～「わくわく感」を大切に！ つながろう！つなげよう！

2 本年度の経営方針

目指す「学校像」～愛情をもって、生徒一人一人を大切に教育育てることができる学校～
 1 公立中学校としての責務を負い、保護者・地域の信頼に応える学校
 2 教育環境の整備、教員の資質・指導力の向上が常に図られる学校
 3 地域に開かれた学校、地域との連携が生かされた安全・安心な学校

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
教育課程	目指す学校像・生徒像の明確さ	B	学校教育目標や目指す生徒の姿と結びついた教育課程を編成するとともに、重点目標やスローガンを、学校だよりやHP等を通じて発信し、周知していただけるよう努める。	A	A
	教育課程の編成	A			
学校関係者評価委員による意見		合唱コンクール等、生徒の成長を感じる教育課程が組まれていた。重点目標や経営方針については、今後もHP等を通じて、学校の状況も含めて、知らせるよう努めてほしい。			
学習指導	「学ぶ力」の育成	B	「生徒にとってわかりやすい授業」づくりを継続するとともに、学習習慣の定着にも力を入れ、学力の向上を目指していく。また、「学ぶ力」育成プログラムや総合的な学習の時間の全体計画を見直し、生徒の進路実現につながる学力や職業観・勤労観、自己実現の力を育て、社会に自立する生徒の育成を目指す。	A	A
	学習意欲・学習習慣・教科指導	B			
	総合的な学習の時間	A			
	進路指導	A			
	特別活動	A			
学校関係者評価委員による意見		生徒が好きな教科をもち、楽しく学習に向かうとともに、苦手な教科に対し、生徒が克服できるような指導の工夫を望みたい。			
生徒指導	「豊かな心」の育成	A	基本的な生活習慣が身に付き、規範意識・道徳性の高い生徒が育っている。教育相談や日常のコミュニケーションを通して、問題の早期発見・解決に努めていくとともに、いじめやネットモラルに関する指導を充実させ、生徒・保護者にとって安心・安全でのびのび活動できる学校づくりに努める。	A	A
	道徳性・規範意識	A			
	基本的な生活習慣	A			
	生徒理解・指導	A			
	安心・安全の学校 いじめの防止・対応	A			
	ネットモラル教育	A			
学校関係者評価委員による意見		一人一人の生徒の思いを受け止め、「個に応じた」指導を行うことで、生徒が自信をもち、自分らしさを発揮できるような努力を続けてほしい。			
健康安全指導	「健全な体」の育成	A	体育的行事や健康・安全指導、清掃指導によって「健やかな体」づくりを進めることができている。教育課程に食に関する授業を明確に位置付け、食事のとり方や栄養面からの「健やかな体」づくりに興味・関心をもつことができるよう、指導の工夫・改善を行う。 また、各教科の学習や道徳の授業などを通して横断的に災害への知識や対応の指導を行う。	A	A
	体育に関する指導	A			
	健康・安全指導	A			
	食育	B			
	環境美化	A			
	災害への対応	B			
学校関係者評価委員による意見		食物アレルギー等現在は難しい課題も学校現場では要求されている。食育指導で、自分の口に入るものに対して関心をもつような指導も工夫することが必要である。			
保護者・地域との連携	信頼される地域に開かれた学校	A	学校だよりやHPを通じて学校や生徒の様子が伝わるよう、積極的な情報の発信を継続していく。また、行事の際にアンケートを設置するなど、地域・保護者の声を反映させ、信頼される学校づくりに努める。	A	A
その他	部活動	A	部活動では、楽しく活動している生徒が多く、様々な場面で個々のよさを生かし、自己肯定感を高めることができるよう、適切な部活指導に努める。	A	A
学校関係者評価委員による意見		教職員の人数が少ない中で、部活動に関し、学校はよく努力していただいている。部活動加入率が上がることで、子どもたちに様々な力を身に付けてほしい。挨拶やきれいな校舎等、優しい学校の雰囲気をごこれからも大切にしてい			